

鋼橋の長寿命化対策に関する講演会（４）



認定番号 JSCE22-1657

主催：安価で確実な鋼橋の長寿命化対策に関する調査研究委員会

共催：公益社団法人土木学会関西支部

2014年から義務化された道路橋に対する5年ごとの全数近接目視点検が2018年度で一巡し、今後は補修補強、更新、架け替えなどの対策のステージに突入する。これまでの点検結果から、速やかに修繕しないと今後通行止めになる可能性がある橋梁が全体の1割程度確認されているが、実際に補修等に着手できている橋はその中の1割程度であり、残りの9割程度は放置されているのが現状である。これらの橋梁に対して速やかに補修していく必要があるが、現在の財政状況を考えると極めて厳しい状況にある。すなわち、対策が必要な橋の数に対して、圧倒的に予算が不足するため、限られた予算で大規模更新や架け替えなどを行うためには、橋の数を減らすか、対策の質を落とすしか選択肢はない。数も減らさず、質も落とさないためには、先ず何よりも安価で、かつ確実で効果的な補修補強対策を開発するしか道はない。

一方、鉄道橋では、以前から2年毎の定期点検が義務付けられており、点検時に「救急箱」を携帯してバンドエイド的な比較的簡易な補修を行うことにより長寿命化を図っている事例も見受けられる。

本委員会は、鉄道事業者や道路管理者、コンサルタント、施工業者、大学の研究者、弁護士等で構成し、安価で確実な鋼橋の長寿命化対策に関する調査研究を行っております。

このたび、その活動の一環として、下記のとおり講演会をハイブリッド開催（現地開催＋オンライン開催）したいと存じます。奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

- 日時：2023年2月22日（水）13:30～16:00
開場 13:15～

【現地開催】

- 会場：ドーンセンター 5階 大会議室2
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号
Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ約350m
- 定員：50名

【オンライン開催】※新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはオンライン配信のみとする可能性があります

- 『Zoom』によるライブ配信となります
動画のスクリーンショット・録音・録画・二次利用等は禁止いたします
- 参加費：無料
- 申込方法：下記URLからお申し込みください。
URL <http://betch.in.coocan.jp/kmk/>



【申込み先ホームページ】

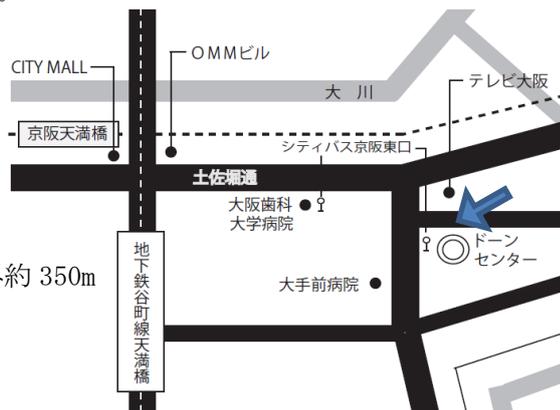
※ **現地開催**へご参加の方へは、申し込み締め切り後に「参加申込受付」が電子メールで送付されます。

これが参加証となりますので、印刷して当日ご持参ください。

※ **オンライン開催**へご参加の方へは、申し込み締め切り後にアクセス用URLが電子メールで届きますので、こちらから接続してください。

※メールアドレスの入力ミスには、くれぐれもご注意ください。（上記案内が届きません）

- 申込締切：2023年2月15日（水） ※定員に達し次第申込を締め切ります。
定員に余裕がある場合は締切後も引き続き申込を受け付けます。
- 資料：講習会では資料の配布は行いません。（2月中旬に掲載予定です）
資料は、申し込み締め切り後に届くメールに記載のURLからダウンロードしご持参ください。



● プログラム

鋼橋の長寿命化対策に関する講演会（４）

司会：調査研究委員会幹事 田辺 篤史（㈱日建設計）

- 13：30－13：40（10分）開会の挨拶
委員長 坂野 昌弘（橋守支援センター）
- 13：40－14：40（60分）
・鋼橋の損傷検出に向けた取り組み
岩手大学 大西 弘志 教授
- 14：40－14：50（休憩 10分）
- 14：50－15：50（60分）
・長大吊橋の架設（長寿命化対策）
㈱横河ブリッジ 古田 富保 顧問
- 15：50－15：55（5分）閉会の挨拶
幹事長 小出 泰弘（南海電気鉄道㈱）

※ プログラムは一部変更する場合があります。
本講演会は、土木学会認定 CPD プログラム(2.0 単位)です。